

令和５年度第１回壱岐市ケーブルテレビ放送番組審議会

令和５年度第１回壱岐市ケーブルテレビ放送番組審議会は、令和６年１月２６日（金）、壱岐文化ホール１０２会議室にて８名の委員が出席して開かれた。

今回、委員の任期満了後初めての会であることから、委員へ委嘱状の交付、会長と副会長の選任が行われた後、指定管理者である光ネットワーク株式会社壱岐支店から放送番組の概要の説明があり、放送番組一般について意見交換を行なった。続いて、事前にＤＶＤを配布していた今回の審議番組１番組について、意見の交換を行なった。

（出席委員）

会 長 横山 正人（九州地域情報化研究所・代表取締役）
副会長 横山 秀敏（壱岐市教育委員会・教育長職務代理者）
委 員 牧本 行秀（壱岐人権擁護委員協議会・副会長）
福田 豊治（壱岐文化団体協議会・会長）
山川 友子（つばきポケット〔壱岐市女性人材バンク〕）
高瀬 正俊
柴山 琢磨
久保田恒徳

○⇒委員の発言 ★⇒指定管理者の発言 □⇒事務局の発言

【放送番組一般について】

○生放送番組について。放送時間を増やせないか。

★週に１回金曜日（〔ごごばな〕）に３０分の生放送を行なっている。３０分の枠の中でいち早く情報を出していくには週に１回が適当と考えている。

○生放送番組の他局との連携についてどうなっているか。

★長崎ケーブルメディアの制作番組。生で中継を繋いでいる。

○特別番組で高校野球について、夏の大会は他のメディアでも観る事ができるが秋季大会も見ることができないのか。

★高校野球の夏の予選は各１０社でやっている兼ね合いもあり弊社だけでやるには無理がある。

○ [イキ島エンタメ学校] について、同じ人がかなり長い期間映っているが、自主制作番組でも視聴者側から見ての公正さは大切。ダンススクール等はお金を払って行なっているのであれば視聴者にも公に募集をしている事がわかるように、単価表など具体的に分かりやすく明確にすることが必要。

★ダンススクールの中のメンバー達が主体となり作っている。また、番組内でスポンサーの募集は何回か行なった。

○自主放送番組の中で、公共的な番組と公益的な市民の作る番組があり、この辺で差別化を明確に出した方が良い。この辺の工夫が必要。募集は、根本的にテレビを見ていない市民の方々にも伝わるように。行政が使っているアナウンスの利用等の他の方法で発信してみてもどうか。

★CM とか番組表で告知を行い、「広報いき」も利用する。

○せっかく隣同士（壱岐と対馬）の離島なので番組の相互利用をもっとやるべき。そういう関係を、作れているのか。

★対馬市 CATV とは「ちょい旅」（[550 ゴゴマル] の中で放送）位です。

○契約数はどうか。ずっと定常的な形か。

★そんなに変化はない。ネットは増えている。ただ、IP 電話は減っている。

○自らスポンサーをして番組制作をする方がいれば募集するのか。

★はい。募集を常にかけている。

○イベントへの取材は、スタッフや維持の問題はどうか。スタッフ的に無理ということか。

★精一杯。単発でイベントが行われているのであれば行けるが、重なってしまうと人手や、機材等が限られ、出来ない。

○ライブ配信等での市長選などの放送で、政権放送等をやる予定はないのか。また倫理的に可能か。

★政権放送はケーブルテレビでは法律的にできない。民放や NHK ぐらいしかできない。公平性を確保しなくてはならないため、法律で決められている。

○番組の中で、一番人気はどれか。

★以前のアンケートでは、「壱岐の車窓から」が人気だった。

【審議番組の内容について】

★「壱岐の歴史散歩」について（配布した DVD の番組内容の説明）

○番組内容では壱岐の昔と現在の変化を写真と資料で紹介とあるが、今回の番組では、タイトルバックに写真が出てきたのみで、昔の写真はない。よって昔と現在の比較ができない。

★赤木写真館と連絡取り、「ここの写真はある」等で準備しているため、今回の取材の箇所の写真はなかった。

○6 人地蔵のいわれや、深い意味。そういったものも伝えと、面白い番組になるのではないか。

★検討して他の文献をいろいろ調べて、打合せしていく。

○シナリオ的なものは、出演者と調整を事前に行っているか。

★はい。打ち合わせを開き、行なっている。

○今ドローンの撮影はあるか。

★勝本防災訓練のときにドローンでの撮影を行なった。

〔壱岐の歴史散歩〕について各委員からの意見。

—— 初山編だがカメラの映りが非常に綺麗。しかし、出演者の言うことが判らない時がある。事前に調べて観光課とも打ち合わせを行ない、監修はあっているだろうが[壱岐の歴史散歩]なので、事前に図書館や壱岐の郷土史館等を利用して、綿密な打ち合わせをし、もっと深く掘り下げた話をした方が良い。

—— 素晴らしかった。壱岐の名所や由来を知れて良い。初山付近の 6 人地蔵は、その内の 2 ヶ所は初めて観た。出演者のひょうきんで明るさが前面に出て楽しい番組。欲をいえば、出演者へのヘアメイクが入ると良い。また、出演者は壱州弁を抑えている。観ているのは壱州人が大多数のケーブルテレビ。本数が少ない中で、壱岐の番組ではもっと壱州弁で行なってほしい。壱岐弁が分からない方へ、テロップでその意味を載せるのも勉強になる。壱州弁丸出しでやって欲しい。

—— 良かった点が、壱岐の歴史や文化を知ることができる。承継や基本的な要素が地元のテレビだから良い。高齢の方には、容易に歩いて行けない所の映像が観られる。A

Dと出演者の2人の掛け合いが面白い。さらに磨けば良い。また、放送日は12月から1月とあったが、その日はたまたま暑い日で季節にギャップを感じる映像だったが仕方のないこと。その時に「たまたま11月の暑い日に撮影がありました」の様なテロップ等があると、少し季節のギャップを補完する情報となり良い。またタイトルは、番組内容をある程度推測できるように「この番組は・・・」など簡単な説明や案内が毎回あると良い。

撮影は難しいと思うが、可能であれば全部のカットとカメラワークのカットがあるとより観やすい動画に仕上がる。天候的に非常に晴天だったので映像の露出が途中白飛びしていた。調整をすればもっと壱岐の綺麗な海の風景が撮れたと思う。映像等についても勉強すればいい番組になると感じた。

—— 非常にいい番組。現在の変更は写真と資料では、写真の文化が幕末ぐらいから始まり、壱岐の何千年の歴史からすると、非常にほんの一部を切り取ることしかできていない。場所によっては、古代の遺跡等があり、うまく説明しても、当然当時の写真はない。写真に関してはうまく対応すれば良い。

—— 非常にいい番組。島内在住者でも、壱岐の観光地を知らないことが多く、島内バスツアーを島内のお年寄りでした時も初めて行く所が多かったようで、こういう企画はすごく良い。

—— 全部見返したい時は、再放送枠があっても良い。後半が「ごつとり学ぶ壱岐國」となっている。せつかく3分番組なので、初山の紹介を3ヶ所では寂しいため、その後半部分をなしにして公開するぐらいが良い。また、クイズが初山とは関係のない内容だったが、入れ込むのなら紹介した土地に関係するもので、ここは別取りではなく、歩きながら出題する形でも良い。紹介する中で、疑問のまま終わらせる場面がある。魚つき保安林や住宅前バス停など、名前の由来は解説があると嬉しい。

—— この出演者がなぜ選ばれたのか、あのキャラクターだから選ばれた形だろうと思うが、生き生きとして良い。また、専門の人の話があった。私は娯楽的に見て楽しい。クイズも同様。私も壱岐に来て50年になるが、「遠見大石」は知らなかった。専門的なものは「一支国講座」とか、「島の科学」みたいな歴史的なものとはまた違った形で、楽しく良い。

—— 学術的な番組というよりはむしろ出演者のキャラクターを生かした形で「みんなが楽しみながら郷土の歴史を見ていこう」という番組と捉えると非常にいい番組。常に出演者が画面に出ている。出演者の姿を映すところと、映さなくて喋りはして良いが、

全体の場合がいろんな角度から撮った方がより良い。6 地蔵さんでは、紙を利用しての話があった。これも面白い表現でいい。だが、この場面は実際に地蔵を見せながら喋った方が、もっとリアルに 6 地蔵さんの歴史が入ってくる。やはりどういう映像を見せると言葉が入ってくるかは場面で違うのもっと工夫した方が良い。非常に良い番組で出演者も楽しい方で、もっとバージョンアップしながら、放送内容も充実していくことを期待したい。

—— [壱岐の歴史散歩]は普段からよく見る番組。壱岐のことをよく知りたく興味があり、壱岐のいろんなところへの案内があり、歴史について学べ嬉しい。出演者は良い。有名で面白く、親しみやすく子供も好き。もっとトークに面白い突っ込みや掛け合いがあるロケ番組になれば良い。癖になる。クイズの答えがわかり難く、面白くない雰囲気があり、正直つまらない。そして、地図がわかりにくい。壱岐全体の内、どのあたりか知りたい。私は子供がいるので、昔のキッズ放送局のようなものや島内各地のイベントをもっと多く放送すれば確実に見る。私の周りのみんなもそう話す。昔は「あれみた」「なんちゃん映っていたよ」や、「インタビューされていたね」など会話が常にあり、よくケーブルテレビが話題になっていた。

【その他】

○事務局にお尋ねしたい。審議会が長らく開かれなかった理由と、毎月の指定管理との定例会で番組内容についてどんな話をしているのか。

審議会とは別に運営委員会やラジオの放送番組審議会があったと思うが、今どうなっているのか。

規定の中で、委員の半数以上の賛成で会議を開くとあるので、規定に年に 1 回とか文言を入れる必要があるのではないかな。

□ ケーブルテレビ放送番組審議会が最近行われていないことについて、理由の大きいところは、やはりコロナ。集まることが難しくなったため、審議委員の一部からも「やはりコロナなので」というお話があり、昨年 5 類移行されるまでは様子を見るような形であった。本来、昨年の夏ごろに開催予定だったが、事務局の方の体制も整っていないこともあり、今の開催となっている。今後については、年に複数回、2 回以上を、次年度においては夏をめどに開催しようと考えている。

次に定例会ですが、毎月ケーブルテレビの方と市役所の方でリモート含め会議を行っており、それ以外の緊急の打合わせは直接話しているような状況。

定例会の中では、基本的に放送番組内容について、あとはラジオの方のイベント SNS 等の普及状況、また機材等、その辺の在庫状況や設備の運行状態や問い合わせなどの対応まで含めて、定例会議の内容となっている。

また、運営委員会とラジオの審議会については、後日調査したうえで皆さんへご紹介、ご報告をしたい。

壱岐市ケーブルテレビ
放送番組審議会事務局